

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・全館のイベントにセール品を出しているが、多数の客はセール品だけでなく、盛夏物の定価商品も見ているので、購買意欲があると感じる。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・DVDの動きが大変良く、特に録画できるタイプは単価が非常に高いため、DVD全体の売上高は前年の2倍以上になっている。デジカメも1月以降は引き続き好調で、これに引きずられてプリンターの動きも良い。テレビ、エアコン、白物家電も良いが、パソコンは相変わらず低調である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・2回の統一地方選挙により来客数の減少を懸念していたが、団体客の増加により前年に比べて売上は7～8%増加した。しかし、客の表情は職種により依然格差がある。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・客は法要などの仏事も内輪で済ませるなど質素な動きが目立つ。また、4月に入ってから婚礼の件数も例年に比べて大変少なくなっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・来店客の買上金額は以前と変わらない。ただし、高齢者は若い人より品質的に良い商品を買っている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・4月は紳士服など重衣料の単価が非常に低下している。また、来客数も減少している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・会員特別招待会の実施により来客数は前年を超えたが、割引価格で提供しているため客単価が低下している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・米の特売を定期的に行っているが、客はその日を目掛けて購入する傾向が強い。特売品の構成比は従来の50%から55～60%に上昇している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・例年4月は売上点数が増える時期であるが、今年は前年に比べて減少している。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・進学、入学関連の商品の動きが前年を下回っている。客単価も低下しており、客が消費を絞り込んでいる様子がうかがえる。今月後半は気温も上がり、若干上向いたが、後が続かなかった。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・売上は前年の90%前後で、このような状態が20か月間続いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街の通行量は低調である。従って、個店自身が客と常に新しい付加価値をつくり続けていくことが大切である。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・価格の高い車の動きは良くない。また、中高年向けの車の販売台数は伸び悩んでいる。反面、1300CCクラスの若手向けの車や中古車はやや堅調であるが、全体的な販売量はやや減少している。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・業界では小型車やRV車が売れているが、当社でも4月は前年並みに推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車が登場した割には、来客数は前年と変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	競争相手の様子	・一点単価や来客数などは昨年並みに回復しているが、競合店との価格競争が収まらないため収益が圧迫されている。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・例年より桜の開花が少し遅かったため、歓迎会と花見の客が分散して集客できた。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・一般宴会は受注件数が伸び悩み、減収となっている。また、レストラン・ウエディングを含む婚礼宴会の1件当たり売上高も前年を下回り、全体では前年を大きく下回っている。	
	通信会社（社員）	販売量の動き	・今月は本来なら新年度で販売量が伸びる時期であるが、あまり増加しなかった。	
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・来客数に変化はない。	
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・4月の新年度に入り、引き合いに動きが出ている。条件は大変厳しいが、マンションなど民間受注のメドが立ちつつある。	

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新築住宅だけでなく、リフォームについても受注量が前年を下回った。一時的なブームのように多数の業者がリフォーム業に参入し、過当競争になりつつある。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・すべての商品部門で前年割れとなった。	
	乗用車販売店 (経理担当)	来客数の動き	・例年4月は3月の増販期の反動で売上が落ちるパターンであるが、今年是最悪であった。イラク情勢や統一地方選挙の影響も多少あると思うが、景気は更に後退している。	
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの曜日の配列によると思われるが、予約数は過去に例がないほど悪い。	
	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・単価は引き続き低下傾向にあり、特に宿泊部門が顕著である。レストラン部門は接待など高い物件の減少により単価は低下しているが、一般物件の単価は落ち着きが見られる。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・統一地方選挙のため、夜の繁華街の人出は少なくなり、週末でも通常の3割程度は減っている。	
	競輪場(職員)	来客数の動き	・来客数が3か月間連続で減少している。理由はレジャーの多様化のためと思われる。	
悪くなっている	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・今月は買上客数が前年の90%を割り込み、またシーズン商品の動きもまだ鈍い。	
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・春から初夏にかけての衣替えの季節に入ったが、洋服、靴、バッグなど身の回り品を買い換えする際の選択基準は「値段」になっている。要は少しでも安い物、また使い回し、着回しの利く物が中心になっているため、売上は大きくダウンしている。	
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数はずっと順調に増加していたが、ここへきて減少傾向に入っている。1回の買物の金額は変わらないが、回数を減らすことにより、食費を削減している様子がうかがえる。	
	その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・売上は「世の中どうなっているのか」と聞きたいくらい悪く、最低である。売り掛は前月と同じであるが、現金売りが2割減少している。	
	旅行代理店(従業員)	それ以外	・香港発のSARSの影響で、海外旅行の予約が全くない。	
	テーマパーク (経営者)	来客数の動き	・前年に比べて団体客が減っており、また個人客も少しずつ減少している。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数が前年同月比で2ケタ以上の減少となっている。従来は平日の動きは鈍かったものの、土、日の来客数はまずまず維持していたが、今月は平日以上に土、日の落ち込みが大きく、全体の利用者数減少の主因となっている。統一地方選挙等の影響もあると思われるが、近隣の温泉旅館をみても全体に客の動きが鈍くなっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・引き合い件数が多くなっているが、成約に結びつく期間が若干遅れている。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・法人向けのIT案件は3か月前に比べてどんどん動いている。ただし、取引先は徹底的なコスト削減に取り組んでいるため、価格は非常に厳しい。
	変わらない	新聞販売店[広告](従業員)	受注量や販売量の動き	・新聞折込チラシの売上が3月ごろから増加傾向にある。
		繊維工業(経営者)	取引先の様子	・取引先からは「大変厳しい状況が続いている」という話が多い。
	やや悪くなっている	輸送業(配車担当)	取引先の様子	・荷量は多少出てきたが、価格が依然下げ止まらず、商売をしても利益が上がる状況ではない。
		食料品製造業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・一時期は販売価格に下げ止まり感がみられたが、前月あたりから更に価格が下がっている。同じ商品群でも販売価格の下がったものが売れており、下落傾向がみえる。
	悪くなっている	化学工業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・販売量の減少傾向に加え、価格の引下げ要求が強い。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・現在手持ち工事はそこそこあるが、すぐに着工できる工事は少ない。民間の工事を探しているが、非常に少ないため、ゴールデンウィークは当社の現場を10連休とした。

		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・特に北陸3県の民間の建築、土木工事ともに赤字覚悟の見積価格で入札してくる業者がいるため、正常な競争が望めない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向が続いている。求職者数は減少傾向にあるものの滞留が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・海外向けの受注が好調な自動車産業やその他機械産業などの企業からは求人が増加している。しかし、内容的には正社員以外の派遣社員や臨時社員が増加する傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人の受注件数の絶対量が伸びていない。また、細かい条件をつけて求人する先が多いため、人材の手配に苦慮している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告が前年実績を1～2割上回っている状態が依然続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月の求人数は前年よりやや少ない。イラク情勢の影響か、SARSの影響かは分からないが、いずれの会社も出足がやや悪い。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・4月に入り、学生や主婦など新規のパート応募者が動き始めている。
悪くなっている	-	-	-	